



ごあいさつ

わが国では、これまですべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法のもとで、さまざまな人権問題の解決に向け取り組んできましたが、今日においても、依然として、家庭、学校、地域社会、職場など、社会生活のさまざまな局面において、社会的身分、門地、人種、民族、信条、性別、障害などによる不当な差別や、その他の人権侵害がなお存在しています。また、わが国社会の国際化、情報化、高齢化の進展にともなって、人権に関する新たな問題も生じてきています。

このような状況の中、市民一人ひとりが人権意識の高揚と問題の解決に向かって積極的に取り組み、人権の尊重を当たり前とした地域社会づくりをめざすことを目的に、「人権教育のための国連10年」小松島市行動計画を平成13年3月に策定しましたが、この行動計画も平成16年をもって終了となりました。

「小松島市人権教育・啓発に関する基本計画」は、「人権教育のための国連10年」小松島市行動計画を引き継ぎ、また、国が「人権教育及び啓発の推進に関する法律」に基づき策定された「人権教育・啓発に関する基本計画」及び「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」の趣旨をふまえ、本市の実情に合わせたものであります。

今後は、本基本計画の実現に向けて人権教育・啓発を総合的に推進して参りたいと考えております。

市民の皆様におかれましても深いご理解とご協力を賜りますとともに、人権が互いに尊重され、守られる地域社会づくりに積極的に取り組まれますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この基本計画の策定にあたり、「小松島市人権擁護施策推進審議会」の委員の皆様をはじめご意見やご提言をいただきました多くの市民の方々に厚くお礼を申し上げます。

2006(平成18)年3月

小松島市長 稲田 米昭